

令和元年度 第1回西脇市国民健康保険運営協議会会議録

- 1 開催年月日 令和元年8月6日(火)
- 2 開催場所 生涯学習まちづくりセンター 会議室2
- 3 開会及び閉会時刻 開会 午後1時30分
閉会 午後2時30分
- 4 出席委員 池 添 正 洋 委員
藤 原 榮 子 委員
武 部 紀 子 委員
大 隅 昭 幸 委員
藤 原 一 幸 委員
伊 藤 正 之 委員
長 井 孝 章 委員
東 田 町 子 委員
藤 原 珠 美 委員
藤 原 透 委員
- 5 欠席委員 岡 崎 年 一 委員
和 田 良 勝 委員
- 6 会議録署名委員 武 部 紀 子 委員
伊 藤 正 之 委員
- 7 説明のため出席した者の職氏名
西脇市長 片 山 象 三
くらし安心部長 高 田 洋 明
保険医療課長 長 井 恵 美
保険医療課保険担当主査 芦 田 周 美
保険医療課保健事業担当主査 中 根 伸 也
健康課長 塩 崎 さゆり
税務課長 高 橋 芳 文
税務課収税対策担当主査 廣 畑 万 紀
- 8 傍聴人 1名
- 9 会議に付した案件
 - (1) 報告事項
 - ア 平成30年度西脇市国民健康保険特別会計決算について
 - イ 令和元年度西脇市国民健康保険特別会計予算について
 - ウ 国民健康保険税の状況について
 - エ 国民健康保険被保険者証の更新状況について
 - オ 医療費の状況について
 - カ 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について

キ その他

- (ア) 西脇市国民健康保険第二期データヘルス計画（平成30年度実績）について
- (イ) 新庁舎での新たな健康事業について

令和元年度第1回西脇市国民健康保険運営協議会会議録

発言者	記 事
事務局	○開会
会 長	○会議成立の報告
	・委員2名欠席のため、本日の出席委員は10名。過半数以上の出席により会議は成立
市 長	○会長あいさつ
	・委員の出席に対する謝意を述べる。
	・国保都道府県化から1年経過、兵庫県と県内市町による制度統一に向けた協議を行っている。委員として注視したい。
	・本日の会議は、平成30年度決算、令和元年度予算などの報告事項を予定しているので、忌憚のない意見をお願いする。
事務局	○市長あいさつ
	・委員の出席、国保運営への協力に対する謝意を述べる。
	・先月、国保税決定通知書を発送。大きな混乱なく推移している。運営協議会において慎重に協議いただいた結果と理解している。
	・新庁舎の動画を会議中に御覧いただく予定。先日、国土交通省が中心となる「コンパクトなまちづくり推進協議会」のコンテストにおいて、全国第2位となる賞（総合戦略部門 コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞）を受賞した。新庁舎とみらいえという2拠点による新しいまちづくり及び産業、健康等との連携が評価された。
	・現委員による会議は、委員の任期により本日が最後の予定と聞いている。国保制度の過渡期において重要な責務を担っていただいたことに感謝する。
事務局	○公務により市長退席
事務局	○出席職員の紹介
事務局	○傍聴者1名を報告
	(進行を事務局から会長へ交代)
会 長	○会議録署名人選出
	・会議録署名人に武部紀子委員と伊藤正之委員を指名
会 長	○ 報告事項1 平成30年度西脇市国民健康保険特別会計決算について
	・事務局からの説明を求める。
事務局	○説明
	・平成30年度決算における歳入について、例年は、前年度比較で説明したが、国保都道府県化による歳入科目の大幅な変更に伴い、最終予算額と決算額により説明する。

<p>会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険税は、7億9,200万8千円で、2,882万5千円の増であり、当初予算時の収納見込みを上回ったことによる。 ・県支出金は、30億9,824万9千円で1億9,274万円の減であり、被保険者の減少に伴う保険給付費の減少による。 ・県支出金、特別交付金のうち、保健事業の取組により交付される被保険者努力支援分及び市町分は、合算して718万4千円の増、健康づくり事業の取組により交付される県繰入金2号分は、1,343万4千円の増である。 ・繰入金のうち、法定繰入は、3億7,670万4千円で、1,245万9千円の減、法定外繰入は、3,318万6千円で、635万4千円の減である。 ・平成30年度決算における歳出について、保険給付費は、30億5,112万8千円で、前年度比1億4,675万4千円の減少である。被保険者数の減少に起因する医療費の減少が要因である。 ・事業費納付金は、11億9,893万1千円で、兵庫県に納付した。被保険者の保険給付、後期高齢者の医療費、介護保険2号保険料に充てられる。 ・保健事業費は、3,484万3千円で、14万1千円の減である。被保険者の減少が要因である。 ・諸支出金は、7,557万2千円で、精算による過年度の国、県支出金等返還金の増が要因である。 ・歳入合計の決算額は、45億7,677万9千円、歳出合計の決算額は、44億5,256万2千円となり、歳入歳出差引額は、1億2,421万7千円となる。 ・歳入歳出差引額のうち、財政調整基金へ6,300万円を積み立て、翌年度へ6,121万7千円を繰り越した。 ・財政調整基金の残高は、5億1,679万4千円となっている。 ・国民健康保険加入状況について、世帯数は、平成30年度5,454世帯で261世帯の減少、令和元年度5,269世帯で185世帯の減少を見込んでいる。被保険者数は、平成30年度8,700人で609人の減少、令和元年度は8,160人で540人の減少を見込んでいる。 <p>○意見、質疑等（なし）</p> <p>○報告事項2 令和元年度西脇市国民健康保険特別会計予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明を求める。 <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度予算における歳出について、保険給付費は、31億3,366万8千円で、前年度比1億5,737万8千円の減少である。被保険者数の減少が要因である。一人当たりの保険給付費は増加傾向にある。 ・国民健康保険事業費納付金は、11億5,932万3千円で、前年度比
-------------------	--

	<p>3,961万円の減少である。事業費納付金の主な財源は、国民健康保険税であり、その他は軽減世帯に係る保険税収入相当額の一般会計繰入金や県支出金である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健事業費は、4,745万6千円で、特定健康診査や特定保健指導、医療費通知発送や人間ドックの費用助成等に充てる。財源は、特定健診等事業費については、補助対象額の1/3を国、1/3を県が補助し、残額を市の一般会計繰入金を充てる。保健事業費については、国保税が主な財源となる。 ・歳入歳出額は、44億6,416万7千円であり、前年度比1億8,791万8千円の減額予算となっている。 <p>○意見、質疑等（なし）</p>
<p>会 長</p>	<p>○報告事項3 国民健康保険税の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明を求める。
<p>事務局</p>	<p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の国民健康保険税率について、医療分は、所得割を6.93%から6.68%に、均等割を28,000円から27,200円に、平等割を19,700円から19,200円に改定、後期支援分は、所得割を2.33%から2.51%に、均等割を9,500円から10,200円に、平等割を6,700円から7,200円に改定、介護分は、所得割を2.3%から2.48%に、均等割を12,000円から13,000円に、平等割を5,600円から6,100円に改定している。 ・賦課限度額について、国の基準に沿い、医療分は58万円から61万円に改定、後期支援分、介護分は、それぞれ据え置いている。 ・税率改定による影響について、約4割の世帯が増額となっている。 ・医療分の課税限度額の改定では、42世帯が限度額超過となる。前年度比では11世帯の減少となる。 ・医療分、後期支援分の1世帯当たりの調定額は、128,555円、1人当たりの調定額は、81,395円となっている。介護分の1世帯当たりの調定額は、32,935円、1人当たりの調定額は、27,736円となっており前年度比で増加している。 ・平成30年度の収納状況について、現年度分は、調定額7億8,209万7,400円に対し、収入額7億4,085万3,827円で、収納率は94.73%、前年度比0.24ポイント減少している。 ・滞納繰越分は、調定額3億5,069万9,684円に対し、収入額5,115万4,600円で、収納率は14.59%、前年度比1.66ポイント上昇している。 ・合計では、収納率69.92%、前年度比0.18ポイント上昇となっており、税務課による収納率向上対策への取組の成果と考える。 ・北播磨5市1町における1人当たり調定額の比較では、西脇市は4

<p>会 長 事務局</p>	<p>番目の位置にある。 ・平成30年度末の基金保有額は、5億 1,679万 4千円となっている。</p> <p>○意見、質疑等（なし）</p> <p>○報告事項 4 国民健康保険被保険者証の更新状況について ・事務局からの説明を求める。</p> <p>○説明 ・平成30年12月1日の証更新時現在の状況において、加入世帯数5,398世帯のうち、被保険者証交付世帯は4,883世帯、残る515世帯には、納税相談等の結果、1～12か月の短期被保険者証を交付している。 ・1年以上保険税の納付がない27世帯に対して資格証明書を交付している。 ・令和元年6月30日現在の交付状況について、短期被保険者証の交付数は、446世帯で、証更新時と比較し69世帯減少したが、未交付世帯数は22世帯増加しており、納付相談等の折衝機会を設けていくことが課題であると認識している。 ・短期被保険者証等が交付されている世帯のうち、高校生39人、中学生以下97人には、被保険者証の交付止めはせず、6か月証で更新している。</p> <p>○意見、質疑等（なし）</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>○報告事項 5 医療費の状況について ・事務局からの説明を求める。</p> <p>○説明 ・平成30年度は、前年度と比較して、入院、外来、歯科ともに件数及び費用額は減少しているが、1人当たり費用額が増加している。 ・播淡11市の医療費の状況では、本市は、3番目に高い状況である。 ・資料にはないが、本市における平成29年度から平成30年度の医療費の伸びは、2.2%の増加となっている。</p> <p>○意見、質疑等（なし）</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>○報告事項 6 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について ・事務局からの説明を求める。</p> <p>○説明 ・特定健康診査について、平成30年度の対象者6,969人に対して、受診者合計が2,624人となり、受診率は37.7%、前年度比0.9ポイント上昇した。 ・受診しやすい環境整備の一環として、今年度は、町ぐるみ健診にレ</p>

<p>会 長 事務局</p>	<p>ディスプレイを設定した他、特定健診の初回となる40歳被保険者には受診勧奨はがきを送付しており、今後個別勧奨も行う予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も引き続き、医療機関における血液検査データ提供依頼に注力するとともに、西脇健康ポイント制度を活用しながら、受診勧奨をしたいと考えている。 ・特定保健指導について、平成30年度の対象者 288人に対して利用者合計が 126人となり、実施率は46.5%となっている。 ・特定健康診査や特定保健指導の受診率、実施率向上や健康意識の啓発等は、疾病予防や早期発見につながり、将来的な医療費抑制につながる。今後も積極的に取り組んでいきたいと考えており、御理解、御協力をお願いする。 <p>○意見、質疑等（なし）</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明を求める。 <p>○西脇市国民健康保険第二期データヘルス計画（平成30年度実績）について</p> <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の外来における医療費の総合計額は、被保険者数の減少により年々減少している。 ・上位5疾病は、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、透析治療のある慢性腎不全、関節疾患で、この3年間変化がない。 ・入院における医療費では、上位3疾病は、統合失調症、骨折、脳梗塞となっている。 ・外来におけるレセプト件数では、上位5疾病は、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、関節疾患、骨粗しょう症であり、いずれも兵庫県の平均を上回っている。 ・生活習慣病における被保険者 1,000人当たりのレセプト件数では、上位4疾病は、高血圧症、筋・骨格疾患、脂質異常症、糖尿病となっており、生活習慣病全体の約80%を占めている。 ・脂質異常症、糖尿病、がんのレセプト件数が増加傾向にあり、糖尿病は重症化予防の取組が、がんは健診による早期発見が必要である。 ・これらのことから、当市国保被保険者の健康課題を抽出すると、健康寿命が国平均と比較して短いこと、男女とも心疾患による死亡割合が高い傾向にあること、心疾患への影響が大きい高血圧症の割合が県平均を上回っていること等が挙げられ、また、生活習慣において、運動習慣のない人が多い、歩行速度が遅い、喫煙や夕食後就寝までの間食の割合が高い、睡眠不足の割合が高いこと等が課題としてあげられる。
--------------------	---

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費においては、1人当たりの医療費が年々増加していること、生活習慣病や筋・骨格疾患のレセプト件数が県平均を上回っていることも課題であると考えている。 <p>○新庁舎での新たな健康事業について</p> <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康課題を解決し、そこで暮らすことで健康になれるまち「にしわかき」を目指し、健康等総合研究委託事業を実施している。 ・この事業では、西脇市の健康課題を把握し、現行事業の見直しを行いながら、新庁舎における新事業のコンセプトやモデル事業の提案が行われる。 ・その提案を基に、令和3年3月完成予定の新庁舎（市民交流施設）において新たな健康事業を実施したいと考えている。 ・新庁舎のイメージ映像を放映。 ・新庁舎に移転する令和3年度に向けて、令和元年度は、正しい健康情報を口コミによって市民に届けてくれる「健康アンバサダー」を養成したいと考える。その他、「健康になれるまち」についての市民講演会を予定しており、参加いただきたい。 <p>○ 意見、質疑等（なし）</p>
事務局	○閉会

